

ひょうご

子ども未来通信 10月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html



仕事と生活のバランス推進フォーラム(9/16)

創意と工夫で仕事と生活のバランスを推進

ひょうご仕事と生活センターは、仕事と生活の両立できる職場環境づくりの一層の推進を図るため、開設2周年を記念したフォーラムを連合兵庫、兵庫県経営者協会と共同で、9月16日に県公館で開催し、約300名が参加しました。

冒頭、井戸知事から「仕事と生活の両立は、社会の大きな課題の一つ。その課題解決に向けたセンスを持つことが大切で、社会も個人も平均像ばかりを追い求めるのではなく、それぞれが将来、社会でどんな役割を果たしていくか考える必要がある」とあいさつ。

その後行われた各企業からの報告では、実際の経営を通じて得られた生の意見が紹介されました。

事例発表企業と内容

(株)樹研工業	経営状況を社員に公開、「先着順、無試験」でユニークな人材を採用
(株)ユーシステム	在宅勤務の導入、残業の縮減(月20時間以上の残業は書面申請に)
(株)長岡塗装店	高校卒業まで年5日看護休暇を付与、育児短時間勤務を小学3年まで拡大

(問) ひょうご仕事と生活センター078-381-5277



ママの働き方革命シンポジウム2011を開催

「出産後も仕事を通じて社会参加できる日本をつくる！」をテーマに、女性の働き方を考えるシンポジウムが、県立男女共同参画センターとNPO法人ママの働き方応援隊により9月4日に開催され、200名が参加しました。

基調講演では、母親の在宅ワーク支援などを行う(株)キャリア・マムの堤香苗社長が、「本当のワーク・ライフ・バランスは、仕事や育児の時間のバランスではなく、心のバランスをとることが大事」と訴えました。



参加者は、「両立について悩まないで、まず一歩を踏み出す勇気もらった」など目を輝かせて話していました。

参加者は、「両立について悩まないで、まず一歩を踏み出す勇気もらった」など目を輝かせて話していました。

(問) 県立男女共同参画センター078-360-8550

県と88社が子育て応援協定を締結 ～締結数は920社35団体に～

子育てと仕事の両立ができる職場環境の整備など、子どもを安心して生み育てられる社会づくりに取り組む企業88社と県との子育て応援協定締結式が、9月27日県公館で開催されました。



締結式では、清原県理事兼少子対策本部事務局長が、「子どもたちが生まれてきて本当によかったと思える社会を共に築いていきたい」とエール。

各企業からは、「各社の取り組みを参考により一層取組を進めたい」「これから結婚、子育てをする社員が希望をもてるような会社にしていきたい」「社員が家族ぐるみで交流する機会を継続的に設けたい」といった心強い決意表明がありました。

<協定を締結すると・・・>

- ・事業所内保育施設を設置する事業主に設置経費の一部を助成
- ・公共事業入札参加資格の技術・社会貢献評価点数(8点/398点満点)加算
- ・商工中金「ひょうご子育て・男女共同参画応援企業ローン」貸付利率最大0.3%優遇
- ・各企業の取組内容を県ホームページに掲載

(問) 県少子対策課 078-362-4184

「子育て情報楽座」を県内各地に順次開設 現在県内39か所で開設！

県では、身近な場所で、地域の子育て支援情報を収集・発信したり、子育て支援関係者や子育て中の方の交流・ネットワークの拠点となる「子育て情報楽座」の開設を進めており、現在県内39か所で設置しています。

楽座へは、県から知事揮毫の看板・掲示板が貸与されるほか、子育て関連イベントや各種講座、ボランティア募集情報などが掲示されています。県ホームページで楽座の場所を紹介していますので、お気軽にお立ち寄りください。

県では、情報楽座になっていただける団体を広く応募中です。



【開設団体の募集を行っています】

子育て支援をしたい方、子育て支援ボランティアを求めている方、子育て真っ最中の方などの様々なニーズに応え、気軽に立ち寄ることのできる情報拠点を開設していただける方を募集しています。

【開設場所】

子育て支援 NPO、子育てほっとステーション 等

また、各地域で下記団体が子育て情報楽座の活動を支援します。

地域	団体	連絡先
神戸・淡路	特定非営利活動法人 ウイズネイチャー	078-621-3127
阪神南	特定非営利活動法人 コミュニティ事業支援ネット	0798-23-3738
阪神北	特定非営利活動法人 市民事務局かわにし	072-774-7333
東播磨	特定非営利活動法人 みっくす	078-924-5139
北播磨・但馬・丹波	特定非営利活動法人 北播磨市民活動支援センター	0794-63-8156
中・西播磨	特定非営利活動法人 生涯学習サポート兵庫	079-230-0661

(問) 県少子対策課 078-362-4185

もう登録しましたか？

「子ども安全メール」



子どもの事故に関する豆知識を毎週配信！

消費者庁では、「子どもを事故から守るプロジェクト」を実施しており、その取組の一つとして、「子ども安全メール」を配信しています。

主に0歳から小学校入学前の子どもの安全情報や事故情報を基にした注意喚起情報などを毎週木曜日に配信しています。この機会にぜひ登録ください。詳しくは <http://www.caa.go.jp/kodomo/mail/>

<過去の配信内容>

- ・子ども（1～4歳）の家庭内での死亡事故の3割はお風呂！
- ・やけどの危険は0-1歳！居室と台所が8割 など

まちかど子育て相談員養成講座がスタート 一県内3会場で順次開催

身近なところで子育て家庭の相談にのり、支援情報を提供する「まちかど子育て相談員」の養成講座が県内3会場（神戸・阪神・姫路）でスタートしました。講座は10～14回の連続講座で、3会場で計140名を養成します。

姫路会場で行われた第1回目の講座では、神戸親和女子大学の勝木洋子教授が「少子化対策から子ども・子育て新システムへ」をテーマに、自身の子育て体験を交えながら、少子対策・子育て支援の現状や課題を解説。

受講生はコミュニケーション技法も体験しながら、終始、興味深く聴き入っていました。

<養成講座では・・・>

子育て支援活動に取り組む際の基本的知識や傾聴・コミュニケーション手法などのスキルを講義・演習・実習を通じてトータルで修得できることを目指しています。

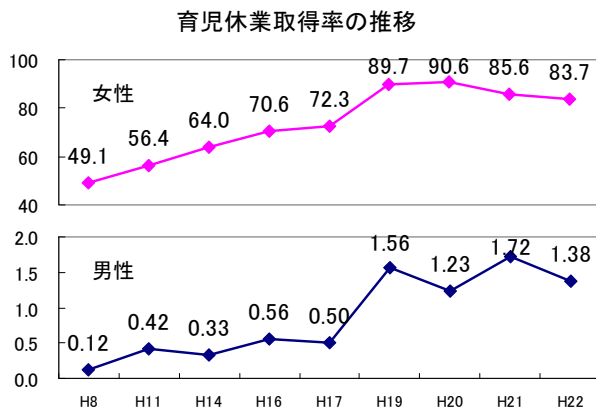


(問) 県少子対策課 078-362-4185

H22育児休業取得率 女性83.7% 男性1.38%

厚生労働省の発表資料によると、平成22年度の育児休業取得率は、女性は昨年に比べ1.9ポイント低い83.7%、男性は同0.34ポイント低い1.38%となったことがわかりました。

また、女性の取得期間は「10か月以上1年未満」が最多の



32.4%でしたが、「1年以上1年半未満」も24.7%と20年度調査より約8ポイント増え、長期化の傾向が見られました。

子育て家庭の味方！ ファミリーサポートセンター をぜひご利用ください！



ファミリーサポートセンターでは、会員相互の助け合いによる子どもの一時預かりや病後児の預かり等を行っており、現在、県内28市町27センターで実施しています。（病後児預かりについては23市町で対応）

現在、県内会員数は2万6千人で、年間6万8千件の利用があります。利用を希望される方は、まずはお近くのセンターまでお問合せください。

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw09/hw09_000000001.html

(問) 県少子対策課 078-362-4183

NPOと行政の子育て支援会議が「NPO大懇談会」を開催 ～56団体・100名が参加・交流～

「NPOと行政の子育て支援会議」が、設立5周年を記念し、9月10日、県農業共済会館において「NPO大懇談会」を開催しました。

NPO、行政、社会福祉協議会による事例発表とパネルディスカッションでは、支援される側から支援する側への移行を促すアプローチ方法など興味深いアドバイスが紹介され、また、その後行われた参加者全員による「グループ交流会」では、行政と共に取り組みたいことや、日頃の活動における悩みなどについて、活発な意見が交わされました。

参加者からは「様々な活動をしている団体や行政の方と交流し、多くの情報を得ることができた」といった感想が聞かれ、とても有意義な時間を共有することができました。

「NPOと行政の子育て支援会議」とは・・・

- ・NPOと行政が情報を共有し、協働して子育て支援活動の推進を図るため、平成18年8月に発足。
- ・県・市町などの行政と子育て支援を行うNPO・グループ等が、お互いにフラットな立場で交流を深めながら、様々な子育て支援に取り組んでいます。(会員数:194団体(H23.9現在))

～加入の申込は県少子対策課までご連絡ください～

(問) 県少子対策課 078-362-4184



参加者募集

子育て応援ネット全県大会

いち早く子ども等のSOSをキャッチすることにより、児童虐待を防止し、地域ぐるみで子どもを育てていくことをみんなで考えます。(参加無料)

- ◆日時 平成23年10月19日(水)13:00～15:40
- ◆場所 兵庫県公館大会議室
(神戸市中央区下山手通4-4-1)
- ◆内容
 - ・事例報告
 - 〔加東市女性団体連絡協議会、太子町子育てネットワーク、香美町青少年育成推進協議会〕
 - ・講演(立木茂雄 同志社大学教授)
- ◆申込 氏名、電話、市町名に「子育て応援ネット参加希望」を記載の上以下まで
FAX 078-362-3011
電子メール shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp
- ◆問合せ 県少子対策課 電話 078-362-4185



ひょうごの珈琲と出逢いのフェスティバル

県喫茶飲食生活衛生同業組合と県が子育て応援協定を締結することとなり、これを記念したイベントを開催します。(参加費2000円)

- ◆日時 平成23年10月23日(日)12:30～16:30
- ◆場所 神戸ポートピアホテル本館地下1階 和楽の間
(神戸市中央区港島中町6-10-1)
- ◆対象 県内在勤または在住の独身成人男女
- ◆定員 男女各50名(応募多数の場合は抽選)
- ◆締切 10/7(金)必着(10/13までに可否を全員に連絡)
- ◆費用 男女とも2000円(飲み物とケーキ)
- ◆申込 氏名(ふりがな)、性別、年齢、勤務先、郵便番号、住所、電話、FAXを明記の上、往復はがきで喫茶飲食生活衛生同業組合へ郵送
〒650-0014 神戸市中央区元町高架通3-271
電話 078-341-0660



**県立美術館の新たなシンボル 巨大オブジェ設置記念
こどものイベント「カエル着がえる」**

県立美術館では、新たなシンボルとして、巨大なカエルのオブジェをギャラリー棟の屋上に設置しました。

そこで、子どもを対象にした楽しい記念イベント（カエルの塗り絵、三角帽子づくり）を開催します。（参加無料）



- ◆日時 平成23年10月15日(土) 10:30~12:00
- ◆場所 県立美術館北入口屋外通路
(雨天の場合はエントランス)
(神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1)
- ◆申込 10月2日(日)10時から電話受付開始
(対象は5歳から小学3年生まで。定員30名 先着順)
- ◆問合せ 県立美術館こどものイベント係
電話 078-262-0908

TAJIMADOMEキッズフェスティバル

但馬ドームで行われる秋祭りが今年も開催されます。

親子で楽しむステージイベントをはじめ、ちびっ子フリーマーケットや、オンラインスケート体験コーナー、食育をテーマにしたスタンプラリーなど、楽しい催しがいっぱい。



- 皆さんお誘い合わせのうえぜひお越しください！
- ◆日時 平成23年10月16日(日) 10:00~16:00
 - ◆場所 県立但馬ドーム 多目的グラウンド
(豊岡市日高町名色 88-50)
 - ◆申込 不要(入場料無料)
 - ◆問合せ 県立但馬ドーム
電話 0796-45-1900

「まちの寺子屋師範塾」の受講生を募集します！ (10月に申し込み可能な講座)

県内大学でさまざまな子育て支援について学ぶ「まちの寺子屋師範塾」を開催します。(受講料：無料)

近大姫路大学

こどもの未来をはぐくむ
子育て支援講座

講師 篠原良三 教授
「こころに響く童謡唱歌とは、何？」など 全5回

- ◆開催日: 10/29(土) 11/19(土)
11/26(土) 12/3(土)
12/10(土)
- ◆募集期間: 定員になり次第締切
- ◆問合せ・申込: 079-247-7301
- ◆募集人員: 30名(先着順)

神戸常盤大学・短期大学部
子育てと健康

講師 小崎恭弘 准教授
「イクメンブームと家族の変化」など 全4回

- ◆開催日: 11/19(土)
- ◆募集期間: 9/1~11/4
- ◆問合せ・申込: 078-611-1821
- ◆募集人員: 80名
(定員を超えた場合は抽選)

神戸芸術工科大学
子どもとデザイン

講師 相良二郎 教授
「安全と安心のためのデザイン」など 全3回

- ◆開催日: 10/29(土) 11/12(土)
11/26(土)
- ◆募集期間: 9/5~10/15
- ◆問合せ・申込: 078-794-2112
- ◆募集人員: 50名(先着順)

関西学院大学

子どもの姿をとらえ直す

講師 清原知二 教授
「乳幼児・児童期・生徒期の成長の流れを見るー美術教育の観点からー」など 全3回

- ◆開催日: 10/22(土) 10/29(土)
- ◆募集期間: 9/1~10/14
- ◆問合せ・申込: 0798-54-6890
- ◆募集人員: 40名(先着順)

(問) 県少子対策課 078-362-4185

NPO等の活動紹介

HeartMam (ハートママ) (神戸市)

同団体では、「誰もが心ゆたかに子育てできる環境づくり」をめざし、保育士資格を持つメンバーを中心に、出張一時保育や絵本の読み聞かせ、親子遊び、赤ちゃんとお母さんのリラックススペース「Baby ガーデン」の運営などの活動に取り組んでいます。

平成23年5月からは兵庫県立美術館で「美術鑑賞時の一時保育サービス」

を実施し、また、東日本大震災で被災した親子をサポートする子育て支援団体とのコラボレーション「神戸ぼけっとnet.」の活動に参加するなど、様々な形で精力的に子育て家庭をサポートしています。



(問) HeartMam 090-3948-3719

※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部(健康福祉部 子ども局少子対策課)
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうごの子育て支援情報は

ひょうご 子育て

検索

**ひょうご子育て
twitter**

子育て情報やイベント情報をツイッターで随時発信しています。

<http://twitter.com/HyogoKosodate>

**ひょうご子育て応援メールも
好評配信中です!**

子育てに役立つ身近な情報をメールで配信しています。
regist@magazine.hyogokosodate.jp(QRコードからも読取可)に空メールを送付し登録してください。



ひょうご

子ども未来通信 11月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_000000008.html



子育て応援ネット全県大会(10/19)

子どもを守る地域ぐるみの子育て支援の取組を強化

10月19日、県公館で「子育て応援ネット全県大会」が開催され、子育て家庭応援推進員など約400名が参加しました。

井戸知事は、「応援ネットは子ども・親にとって心強い存在。地域のおせっかい役として、自信、プライドをもって取り組んでいただきたい」とあいさつ。

続いて、子育て応援ネットの各推進母体による取組の事例発表と、立木茂雄同志社大学教授による「家族の変化とこれからの子育て支援」と題した講演が行われました。

立木教授は、これまでの日本の人口変動、家族の変化を踏まえ、子育て応援ネットの取組に代表される共助の大切さについて、わかりやすく説明されました。



事例発表

団体	主な活動内容
加東市女性団体連絡協議会	三世代交流スポーツ大会の実施や小学校の登下校見守り活動
太子町子育てネットワーク	あいさつや声かけ運動、児童委員・主任児童委員と一緒に小中学校を訪問
香美町青少年育成推進会議	地域安全マップの作成、小学校オープンスクール時の受付と不審者対策

子育て応援ネットとは・・・

兵庫県地域女性団体ネットワーク会議の構成団体(18団体)等がネットワークを組み、子育て家庭への見守り、声かけなどを行う子育て家庭応援運動を展開するとともに、虐待や問題行動などのSOSのサインをキャッチし、市町やこども家庭センター等の専門機関につなぐSOSキャッチ活動に取り組んでいます。

(問) 県少子対策課 078-362-4185

県と喫茶組合が子育て応援協定を締結

～締結を記念した“出逢いフェスティバル”も開催～

県は、地域における子育て支援や独身男女の出会いの場づくりに取り組んでいる県喫茶飲食生活衛生同業組合と子育て応援協定を10月23日に締結しました。

この締結を記念して、同組合主催による独身男女の出会いイベントが、同日神戸市内のホテルで開催され、100名を超える男女がファッションショー、ジャズ演奏等のイベントを楽しみながら交流を深めました。

県では、今後も企業・団体等と連携しつつ、子育て、出会い・結婚支援に取り組んでいきます。



(問) 県少子対策課 078-362-4184



子育て応援協定締結企業数
935社・36団体(10月末現在)

県では出会い支援事業を展開しています!

各種会員・団体大募集!

<出会いイベント会員(無料)>

協賛団体(企業)が企画・開催する出会いイベントに参加できます。

<はばたん会員(有料:年度登録料3000円)>

プロフィールを閲覧して、気に入った相手との個別のお見合い紹介を提供します。

☆出会いイベントを企画・開催する協賛団体(企業)も募集しています。

(問) ひょうご出会いサポートセンター078-891-7415

ひょうご孫育てプロジェクト「地域孫育てセミナー」を開催

兵庫県では「ひょうご孫育てプロジェクト」の一環として、日本助産師会兵庫県支部と協働で「心を育てる地域孫育てセミナー」を県内 10 会場で実施しています。

その皮切りとして10月1日に明石市で開催された会場では、初めてお孫さんが生まれたという女性など幅広い年代の方が受講。

参加された方たちは、ベテラン助産師による最新の子育て事情や祖父母の役割等の講義に熱心に聞き入ったり、赤ちゃん抱っこ・抱っこ紐体験に進んで挑戦されていました。



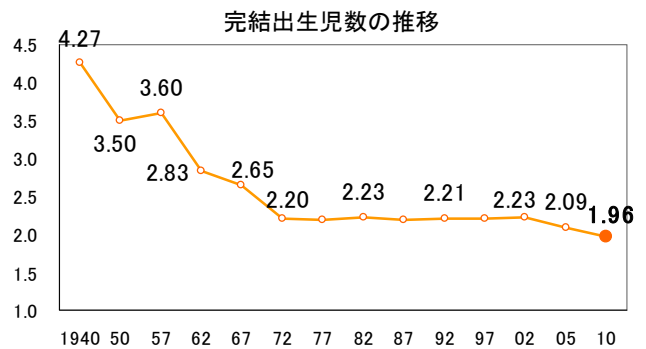
(問) 県少子対策課 078-362-4185

夫婦の子ども数 1.96人に

国立社会保障・人口問題研究所が10月21日に公表した「第14回出生動向基本調査」によると、夫婦が生涯に持つ子どもの平均数である「完結出生児数」は1.96人と、初めて2人を下回りました。

完結出生児数は1940年(第1回調査)の4.27人をピークに、70年代以降は2人前後で推移してきましたが、前回は2.09人、今回はさらに0.13人減と02年以降減少幅が広がっています。

また、夫婦が会ってから結婚するまでの平均交際期間は4.3年と、87年調査と比較して1.72年長くなっており、出会いの年齢が高くなっているのとあいまって、晩婚化が引き続き進んでいます。



資料：出生動向基本調査（国立社会保障・人口問題研究所）

11月は児童虐待防止推進月間です！

民間団体・県・市町では、協働して児童虐待に取り組むオレンジリボンキャンペーンを展開しています。

11月3日(木・祝)に開催されるヴィッセル神戸のホームゲームでは、観戦者に啓発チラシ、グッズを配付するほか、試合開始前に選手からの虐待防止メッセージを放映します。

また、11月24日(木)には県医師会館で児童虐待防止にむけた研修会を開催します。

児童虐待防止 24 時間ホットライン

相談窓口	電話	相談日時
中央こども家庭センター	078(921)9119	24 時間
西宮こども家庭センター	0798(74)9119	
川西こども家庭センター	072(759)7799	
姫路こども家庭センター	072(294)9119	
豊岡こども家庭センター	0796(22)9119	
神戸市こども家庭センター	078(382)2525	8:45～17:30
(夜間休日相談)	078(382)1900	17:30～翌 8:45



<児童虐待防止研修会>

日時 平成 23 年 11 月 24 日 (木) 14:30～16:30
 場所 兵庫県医師会館 2階大会議室
 内容 基調講演「救急現場から見える子ども虐待の状況」
 日本小児救急医学会理事長 市川光太郎
 パネルディスカッション
 「医療・保健の現場での気づきに役立つサイン」等
 定員 280 名 (先着順) (参加無料)
 申込 氏名・住所・職業・連絡先を明記の上、下記まで
 兵庫県医師会乳幼児保健係 FAX078-231-8112
 E-mail s.sotani@hyogo.med.or.jp

ご存じですか？ 県立リハビリテーション中央病院 子どもの睡眠と発達医療センター

同センター（三池輝久センター長）では、子どもたちの様々な睡眠問題と、それに関連した「運動発達」「言葉やコミュニケーション発達」「不登校」等に問題を抱えた子どもさんやご家族の不安・苦しみを、本人、家族、医療スタッフのチームワークで解決し、更にはその出現を予防することを目指しています。

小児睡眠障害について受診をご希望の方は、同病院地域医療連携室までご連絡ください。（受診には予約が必要です。）

＜乳幼児期における睡眠障害＞

- ・夜間睡眠中にしばしば目を覚ます（3回以上）
- ・一度目を覚ますと1時間ほど起きています
- ・トータル睡眠時間が9時間より短い
- ・日中の機嫌が悪くよく泣いている など



（問） 県立リハビリテーション中央病院地域医療連携室 078-925-9264（9:00～17:00（平日のみ））

「家族の日」写真コンクール 受賞作品が決定

家族のきずなを深めるきっかけづくりを進める「家族の日」運動の一環で実施した写真コンクールの受賞作品が決定しました。

テーマは「家族のきずな」で、155人から495点の応募があり、知事賞には、プールに潜った親子の表情を捉えた田村美千代さんの「一緒に潜ろう 1、2の3」が選ばれました。

知事賞『一緒に潜ろう 1、2の3』



11月13日に県公館で開催される「ひょうご家庭応援県民大会」で、表彰式と受賞作品の展示が行われます。

ひょうご家庭応援県民大会の参加者を募集しています

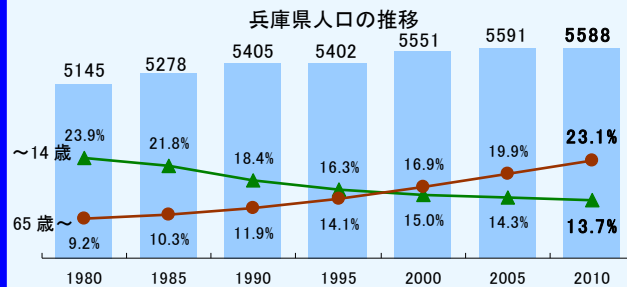
日時：平成23年11月13日（日）13:00～15:30
 場所：兵庫県公館（神戸市中央区下山手通4-4-1）
 内容：基調講演、「わくわく親ひろば」「おやし元気プログラム」実践事例発表 など
 申込：県男女家庭室（Tel 078-362-3169）
http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac15/ac15_000000433.html

H22国勢調査の結果から①

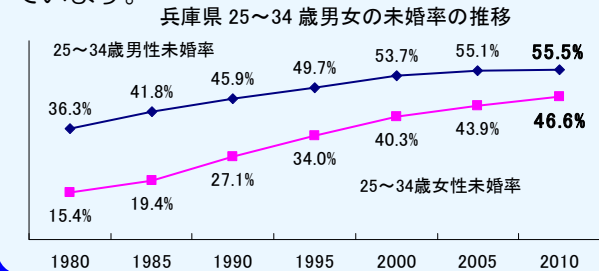
平成22年に実施された国勢調査の第一次集計が10月26日公表されました。

本県の人口は558.8万人で、前回調査（17年）と比較し2,468人減となったことがわかりました。

年齢別の人口構成では、年少人口の割合が最低になる一方、高齢者人口が過去最高になるなど、少子高齢化の進行が顕著に表れています。



また、25～34歳の男女の未婚率は、前回調査からさらに上昇し、いずれも過去最高となっています。



参加者募集

子育て支援者交流会

地域で子育て支援に携わる方々が一堂に会する交流会を開催します。（参加無料）

- ◆日時 平成23年11月30日（水）14:30～16:30
- ◆場所 兵庫県農業共済会館 7階大会議室（神戸市中央区下山手通4-15-3）
- ◆内容 まちかど子育て相談員認定証授与式、NPO、子育て支援団体による活動発表、兵庫大田端和彦教授による講演
- ◆定員 180名（先着順）
- ◆申込 住所、氏名、電話番号を明記のうえ下記まで
 兵庫県少子対策課 Fax078-362-3011
 shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご現代結婚事情フォーラム

結婚支援に携わる方々が様々な視点からディスカッションを行い、現代若者への結婚支援のあり方について考えるフォーラムを開催します。（参加無料）

- ◆日時 平成23年11月25日（金）13:30～16:30
- ◆場所 ラッセホール2F ローズサロウン（神戸市中央区中山手通4-10-8）
- ◆定員 350名（先着順）
- ◆申込 所属、氏名、住所、電話番号・FAXを明記のうえ下記まで
 ひょうご出会いサポートセンター Fax078-891-7418
 hyogo.deai@seishonen.or.jp



「乳幼児を中心とした子どもの事故防止」フォーラム

幼い子どもたちの命を不慮の事故から守るため、兵庫県と県医師会が協働し、子育て支援ひょうごフォーラム「乳幼児を中心とした子どもの事故防止」を開催します。

- ◆日時 平成23年12月10日(土)
14:00~16:00
- ◆場所 兵庫県医師会館 2階大会議室
- ◆定員 280名(先着順・参加費無料)
一時保育あり(11/22までに要予約)
- ◆対象 子どもを持つ保護者、
幼稚園・保育所関係者 等
- ◆内容 基調講演、パネルディスカッション
- ◆申込 住所、氏名、職業、連絡先(電話番号)を
記入し、FAXまたはメールで下記まで
- ◆問合せ 兵庫県医師会 乳幼児保健係
TEL 078-231-4114
FAX 078-231-8112
E-mail s.sotani@hyogo.med.or.jp



HUGCAFEシンポジウム

大学が子育て支援にどのようにかかわっていくべきかについて考えるシンポジウムを開催します。

当日は、基調講演のほか、大学、行政、NPOそれぞれの立場から現状や課題、今後の方向性などについて討論する分科会を開催します。

- ◆日時 平成23年11月23日(水・祝)
10:30~16:30
- ◆場所 西宮市大学交流センター
(西宮市北口町 1-2 ACTA 西宮東館 6階)
- ◆定員 145名(先着順・参加費無料)
- ◆内容 基調講演(大豆生田 玉川大学准教授)、
大学、行政、NPOによる分科会
- ◆申込 住所、氏名、職業、連絡先(電話番号)を
記入し、FAXまたはメールで下記まで
- ◆問合せ ひょうご地域子育て支援大学間連絡協議会事務局
FAX 078-803-7971
E-mail yukano_teramura@stu.kobe.ac.jp

NPO等の活動紹介

伊丹市池尻小学校で「子育てワークショップ」を開催

10月21日に、伊丹市立池尻小学校で「ありがとう子育てワークショップ」が開催され、約50名の方が参加しました。

ペアレント・トレーナーである福田充男氏の講義では、「子どもにどう行動して欲しいのか分かりやすく具体的に伝える」「おやくそく表を使って子どものやる気をひきださせる」など、子育てに役立つ貴重な話が披露されました。

その中で、参加者は二人一組になって、お互いをほめ合ったり、子どもとの接し方などについて日常の状況を仮定したロールプレイングなどを体験しました。



子育てほっとステーション「こぼこ」(加古川市)

加古川駅前の路地裏ガイドマップの作成など、加古川の市街地の活性化や魅力発信などに取り組んでいる「加古川みらい創造有限責任事業組合」(岡本敏教代表)は、JR加古川駅前の空き店舗を活用し、今年度新たに子育てほっとステーション「こぼこ」をオープンしました。

「こぼこ」では、キッズスペースや親子がくつろげるスペースを開放しているほか、月1回子育てイベントを開催しています。

10月は、ハロウィンにちなんで親子が英語の歌を歌いながら、ジャンプしたり踊ったりする「英語で遊ぼう」を実施し、多くの親子が楽しみました。みなさん、ぜひお立ち寄りください。

場所:加古川市加古川町篠原町 59-1

開放時間:10:00~18:00 定休日:火曜日

(問) 加古川みらい創造有限責任事業組合
079-455-8407



※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部(健康福祉部 子ども局少子対策課)
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうごの子育て支援情報は

ひょうご 子育て

検索

ひょうご子育て
twitter

子育て情報やイベント情報をツイッターで随時発信しています。

<http://twitter.com/HyogoKosodate>

ひょうご子育て応援メールも
好評配信中です!

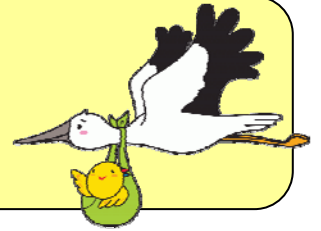
子育てに役立つ身近な情報をメールで配信しています。
regist@magazine.hyogokosodate.jp(QRコードからも読取可)に空メールを送付し登録してください。



ひょうご

子ども未来通信 12月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_000000008.html



家庭応援県民大会を開催(11/13)

県内の地域団体・NPO や企業等 636 団体からなる「ひょうご家庭応援ネットワーク会議」が主体となって、家族のきずなを深め、地域で家庭を支える「ひょうご家庭応援県民運動」。その活動を広く発信するための県民大会が 11 月 13 日県公館で開催されました。

冒頭、井戸知事は「家庭の問題が地域、社会の問題になっている。もう一度家族・家庭について考えるとともに、地域ぐるみで家庭を助けよう」とあいさつ。

「家族の日」写真コンクールの表彰に続き、法政大学講師の小泉吉永さんが「江戸時代の子育てに学ぶ」と題して講演を行い、「子どもには教え込むのではなく、参り込ませる教育が必要」「親や年長者は子どもの模範であり、生涯学び続けることが大切」など、現代に活かせる子育ての秘訣をわかりやすく説明されました。

会場では、子どもや孫と楽しくコミュニケーションがとれる方法の解説や、簡単にできるマジックも紹介され、和やかな雰囲気の中で行われました。



(問) 県男女家庭室
078-362-3169



県内3団体が内閣府特命担当(少子化対策)大臣表彰を受賞

日頃子ども・若者や子育て家族を支援する活動に取り組み、顕著な功績のあった団体等を表彰する「子ども若者育成・子育て支援功労者」が国から発表され、県内から下記の3団体が受賞しました。



表彰式は 11 月 22 日に行われ、蓮舫内閣府特命担当(少子化対策)大臣より各団体の代表者に表彰状と記念品が手渡されました。

パニラシティ・イングリッシュセンター(森田充代 代表)
NPOと行政の子育て支援会議(米山清美 代表幹事)
社団法人兵庫県看護協会(大森綾子 会長)

(問) 県少子対策課 078-362-4232

ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰 ～10団体が受賞～

ひょうご仕事と生活センターは、仕事と生活のバランス実現に向け先進的な取組を進める企業の表彰を連合兵庫、県経営者協会と行っており、その表彰式が 11 月 16 日、県公館で行われました。

井戸知事は、「目覚しい成果を上げられた企業の皆様には他の企業の模範となって社会の先頭を切っただきたい」とあいさつ。その後、各団体に賞状と記念品が贈られました。



受賞団体と主な取組

大豊機工(株)	ワークライフバランスとコミュニケーション研修の計画的な実施
(株)オーシスマップ	月1度定時退社日を設定し、家族と共に過ごす日を実施
ケイオー開発(株)フローラルイン姫路	事業所内保育施設を整備し「まちの子育てひろば」として登録、育児相談等を実施
甲南大学生生活協同組合	女性リーダーの活躍による組織の活性化
光洋電気(株)	階層別勉強会によるコミュニケーションの円滑化と働きやすい職場環境づくり
医療法人中央会尼崎中央病院	勤務形態を見直し看護師の定着率を向上
(株)フェリシモ	男性も含めた育児休暇取得率向上の取組
(株)三井住友銀行芦屋ブロック	継続的な就労、スムーズな職場復帰を支援する「従業員サポートプログラム」を実施
(株)ユーシステム	残業時間を段階的に削減し、働きやすい職場環境づくりを推進
ヨドブレ(株)	時短の取組による意識改革とコミュニケーションの活性化

(問) ひょうご仕事と生活センター078-381-5277

但馬まるごと感動市で婚活イベント開催 (県立但馬ドーム11/12・13)

秋深まる神鍋高原に、但馬の美味しい食や物産、楽しいイベントが大集合する「但馬まるごと感動市」が11月12・13日の両日、県立但馬ドームで開催されました。

今年で2年目となる出会いイベント「夢は但馬で(コンカツ)」では、昨年のイベントで誕生した婚約中のカップルに、知事のお祝いメッセージが金澤副知事から手渡され、その後独身男女が楽しく歓談、交流しました。

会場では、絵本作家の永田萌さんによる大型絵本の読み聞かせや、お絵かきコーナーも行われ、多くの親子が秋の一日を楽しんでいました。



(問) 但馬県民局県民協働室
0796-26-3648

県では出会い支援事業を展開しています！

各種会員・団体大募集！

＜出会いイベント会員（無料）＞

協賛団体（企業）が企画・開催する出会いイベントに参加できます。

＜はばタン会員（有料：年度登録料3000円）＞

プロフィールを閲覧して、気に入った相手との個別のお見合い紹介を提供します。

☆出会いイベントを企画・開催する協賛団体（企業）も募集しています。

(問) ひょうご出会いサポートセンター(県青少年本部)078-891-7415

新ひょうご子ども未来プラン推進協議会を開催

県の少子対策・子育て支援の推進母体で、関係団体代表者等が集う「新ひょうご子ども未来プラン推進協議会」(会長：森茂起教授)が11月24日、県公館で開催されました。

冒頭、金澤副知事のあいさつの後、「新ひょうご子ども未来プランプログラム2011」に基づく少子対策・子育て支援の取組等について意見が交わされました。

委員からは、「子ども・青少年分野の兵庫県の取組は他県よりも進んでいる。更なる取組充実を期待している」「県の取組を広く全国に発信することが大切」など活発な意見が出されました。



(問) 県少子対策課 078-362-4183

ひょうご現代結婚事情フォーラム

現代若者の結婚支援方策を探るフォーラムが、11月25日、兵庫県と(公財)兵庫県青少年本部の主催により、神戸市内で開催されました。

少子化ジャーナリストの白河桃子氏による基調講演では、「成功する婚活への5ステップ」として「良い出会いには、ボランティア活動に参加するなど積極的に交友を広げることが大切」「高い条件を求めず現実を見て相手を選ぶことが必要」「断られてもくじけずに何度でもアタックを」など、最近の出会いから結婚にいたる事情について、示唆に富んだ話がありました。

その後、出会い支援事業を展開する民間・行政の担当者によるパネルディスカッションが行われ、活発な意見が交わされました。



(問) 県少子対策課 078-362-4232

認定こども園シンポジウム開催(11/19)

県と全国認定こども園協会共催による、認定こども園の役割と課題を考えるシンポジウムが姫路市で開催され、県内外より300名を超える関係者が参加しました。

藤原朋子内閣府参事官による行政説明、駒村康平慶應義塾大学教授による基調講演の後、パネルディスカッションでは、子ども・子育て新システムに向けた認定こども園のあり方について活発な議論が行われました。

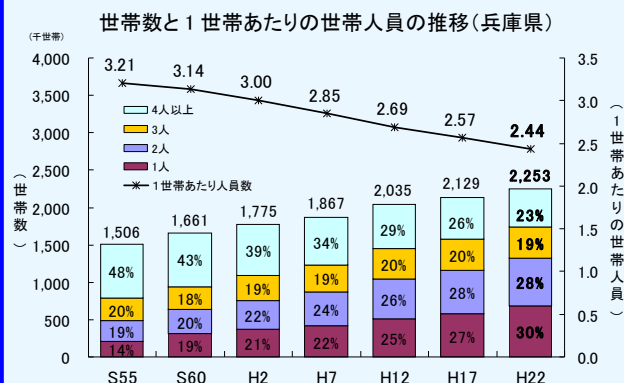
駒村教授は、「社会の変化で、待機児童は潜在的需要を含め30~50万人になる。幼保一体化を含む新システムを構築しなければ対応できない」と呼びかけました。



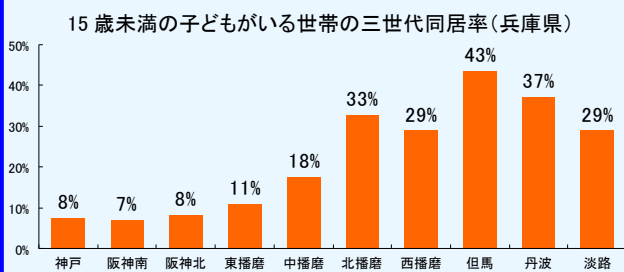
(問) 県児童課 078-362-3215

H22国勢調査の結果から②

兵庫県内の世帯数は、前回調査より5.8%増の225万世帯で、特に1人、2人世帯が全体の約6割を占めるなど世帯の少人数化が進んでいます。



また、15歳未満の子どもがいる世帯の三世帯同居率は但馬が最も高く、4割を超えているのに対し、阪神間は1割以下と地域間の差が顕著に現れています。



大中遺跡まつりでオレンジキャンペーン!

11月5日(土)、加古郡播磨町の大中遺跡まつりの開催にあわせ、播磨町民生委員児童委員協議会が児童虐待防止を呼びかける「オレンジキャンペーン」を展開しました。

ブースでは、オレンジリボンのパネルやのぼりをたて、66名の民生委員児童委員、主任児童委員が会場内で啓発ティッシュ等を配布。

ステージでは、清原理事兼少子対策本部事務局長が「地域みんなで子どもを守りましょう」と民生委員児童委員とともに来場者に呼びかけました。



(問) 県児童課 078-362-3182

ひょうご絵本フォーラムを開催

県では、絵本の読み聞かせを推進し、子どもたちの夢と創造力を育む「ひょうご絵本プロジェクト」を展開しています。

その一環として、10月30日、兵庫県公館で「ひょうご絵本フォーラム全県大会」を開催し、子育て支援者、ひょうご絵本の伝承師など約300人が参加しました。

絵本編集者の松田素子さんが、絵本が店頭に並ぶまでの苦労話や、絵本作家との真剣勝負など、絵本の制作現場の数々のエピソードを披露したほか、松田素子さんと絵本作家の永田萌さんが対談を行い、自身の体験を交えながら、絵本の魅力について語り合いました。



(問) 県少子対策課 078-362-4185

HUGCaFE第2回シンポジウムを開催

今年5月に設立された、ひょうご地域子育て支援大学間連絡協議会(HUGCaFE)と県の共催によるシンポジウムが、11/23に西宮市で開催され、大学教員や学生、NPO関係者など約150名が参加しました。

午前に行われた玉川大学の大豆生田准教授による講演では、「ひろばに参加する親子が気軽に運営にも参加できるプログラムが大切」「サービスの提供だけではなく、『支え合い・学び合いの共同体』をどうつくるかが重要」など、自身の子育て

や支援施設運営で得た経験に基づく示唆に富んだ話に、会場は感心しきり。

午後には3つのテーマで分科会が開催され、活発な意見が交わされました。

(問) 県少子対策課
078-362-4183



参加者募集

子育て応援企業人セミナー

企業経営者や人事労務担当役員などを対象とした、経営戦略としてのワークライフバランスの考え方や行政による様々な取組を紹介するセミナーを開催します。

- ◆日時 平成23年12月6日(火)
13:30~16:00
- ◆場所 神戸クリスタルタワー3F
(神戸市中央区東川崎町1-1-3)
- ◆定員 70名(先着順・参加費無料)
- ◆対象 企業経営者、人事労務担当役員など
- ◆内容 経営・人財コンサルタント中村喜一郎氏による講演、行政による取組紹介
- ◆申込 会社名、住所、電話、所属、氏名を記入し、FAXまたはメールで下記まで
- ◆問合 県少子対策課普及推進係
TEL 078-362-4184
FAX 078-362-3011
E-mail shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうごミュージアム・フェア2011

播磨地区の博物館が一堂に会して、それぞれの館の特長やワークショップを競いあい、ミュージアムクリスマスを楽しんでいただく「ひょうごミュージアム・フェア2011」を開催します。(参加無料・先着プレゼント有り)

- ◆日時 平成23年12月23日(金)~25日(日)
10:00~17:00(最終日は16:00まで)
- ◆場所 兵庫県民会館2階 アートギャラリー
(神戸市中央区下山手通4-16-3)
- ◆内容 子どもから大人まで楽しめる各博物館主催のクリスマスやお正月にちなんだおもちゃなどの工作を行うワークショップと展示
- ◆申込 当日先着順申込(ワークショップにより10~200名の定員あり)
- ◆問合 兵庫県立歴史博物館
TEL 079-288-9011
FAX 079-288-9013



企業等の活動紹介

◇ 頑張る企業 ◇

株式会社大澤工務店(神戸市)(代表者:大澤一雅 事業内容:建設業)

同社では、建築現場から出る木の端材をきれいに整形したうえで、地域で子どもの遊び場を運営するNPOに木工材料として提供するなど、子どもたちの創造性を育むサポートを行っています。

また、社内では育児休業制度を導入するなど、子育てと仕事が両立できる環境を整えるとともに、高校生や大学生のインターンシップを男女問わず積極的に受入れており、実習を経験した大学生が、現場監督として就職を希望するなど、着実に取組の成果をあげています。



※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部(健康福祉部 こども局少子対策課)
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうごの子育て支援情報は

ひょうご 子育て

検索

ひょうご子育て twitter

子育て情報やイベント情報をツイッターで随時発信しています。

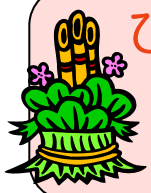
<http://twitter.com/HyogoKosodate>

ひょうご子育て応援メールも 好評配信中です!

子育てに役立つ身近な情報をメールで配信しています。

regist@magazine.hyogokosodate.jp(QRコードからも読取可)に空メールを送付し登録してください。

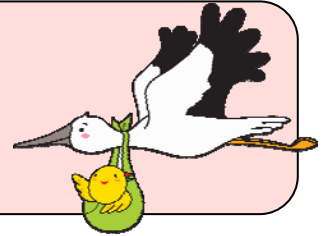




ひょうご

子ども未来通信1月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html



子育て支援者交流会 (11/30) 「まちかど子育て相談員」に認定証授与

地域で子育て支援に携わる方々に情報交換や交流を深めていただくための交流会が、県農業共済会館で開催され、地域で子育て支援に取り組んでいる実践活動家等、約140名が参加しました。

冒頭、個々のニーズに応じて、子育て家庭をきめ細かくサポートする「まちかど子育て相談員」の認定証授与式が行われ、井戸知事より修了生121名に認定証が授与されました。

続いて、子育て支援3団体による活動報告が行われた後、兵庫大学の田端教授が「子育て支援ボランティアのこれから」と題し、講演。「地域社会のつながりが失われつつある今、子育て家庭を支えるのはボランティア。身近な個人や集団の連携による支えが必要」と子育て支援ボランティアの重要性や意義を訴えました。

(問) 県少子対策課 078-362-4185



活動発表

団体名	内容
北播磨市民活動支援センター (小野市)	「子育て情報楽座」を開設し、保育所や企業、NPOなどのネットワーク化と情報の共有・発信を展開
加古川みらい創造有限責任事業組合 (加古川市)	元旅館の空き家を改装して子育てほっとステーション「こぼこ」を開設、親子がくつろげる空間を提供
保育ネットワーク・ミルク (三田市)	子育て中の親対象のセミナーを「子育て元気アップ活動助成」を活用して実施

「お産を考えるフォーラム」 in但馬長寿の郷 を開催

「但馬での安全・安心なお産ができる体制づくり」をテーマにしたフォーラムが12月24日、県立但馬長寿の郷で開催され、地域住民や医療関係者など約150名が参加しました。

基調講演では、三重大学の池田智明教授が「豊岡病院をハイリスクを含めた産科・新生児医療の中核病院と位置付け、周囲の病院との役割分担が必要」など、示唆に富んだ提言を披露。

パネルディスカッションでは、出産経験者や助産師、医師を交え、但馬での安全・安心なお産のあり方について活発な意見が交わされました。



(問) 豊岡健康福祉事務所 0796-26-3655

子育て支援ひょうごフォーラム 「乳幼児を中心とした子どもの事故防止」を開催

県と県医師会協働による「乳幼児を中心とした子どもの事故防止」フォーラムが、12月10日に神戸市内で開催され、乳幼児の保護者、幼稚園・保育所関係者ら約200名が参加しました。



兵庫医科大学の服部益治教授は、「子どもの事故は予防可能な健康問題」、「大人の具体的な注意で事故予防を」など日頃子どもと接する際の心構えをわかりやすく伝授。

その後、4人の小児科医により保育所や家庭で起きる子どもの事故の実態が詳しく報告され、参加者にとって貴重な機会となりました。

起こりやすい事故	対策例
【玄関】 手や指を挟む	隙間カバーをつける
【風呂】 浴槽に落ちて溺れる	浴室に鍵をつける 残り湯を捨てる
【バルコニー】 身を乗り出して落下	踏み台になる物を柵の近くに置かない

(問) 県少子対策課 078-362-4184

子育て応援

企業人セミナーin神戸を開催

県と県経営者協会が「経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス」をテーマに、12月6日、神戸市内でセミナーを開催し、企業経営者や人事労務担当役員など約40名が参加しました。

基調講演では、経営・人財コンサルタントの中村喜一郎氏が、自らの体験もふまえて、企業が社員の子育てと仕事の両立支援に取り組む際のヒントを提示。

「ワーク・ライフ・バランスとは、仕事と生活・家庭の間で個人の時間を取り合うのではなく、与え合うこと」、「優秀な人材に、意欲的かつ持続的に仕事に取り組んでもらう仕組みづくりが大切」といった話に、参加者からは「自分の会社で何ができるか改めて考えたい」等、積極的な意見が寄せられていました。



(問) 県少子対策課 078-362-4184

紙芝居&絵本の読み聞かせひろばXmasスペシャル(12/22)

昔なつかしい紙芝居でみんなほっこり



クリスマス特別企画として、家族みんなでいっしょに紙芝居や絵本を楽しむ催しが、12月22日に県立男女共同参画センター(神戸市中央区)で開催され、約80名が参加しました。

まず、西播磨地域推進員による男女共同参画啓発紙芝居、ボランティアグループの絵本の読み聞かせなどが行われ、続いて、昔なつかしい紙芝居が上演されました。

演目は、漫画家手塚治虫氏の「鉄腕アトム」のモチーフになった「鉄人ちびっこ」や、子どもが活躍する「少年ターザン」などで、色鮮やかで迫力がある紙芝居の絵と、演者「たまちゃん」の太鼓を鳴らしながらの熱演に、会場は大いに盛り上がりました。

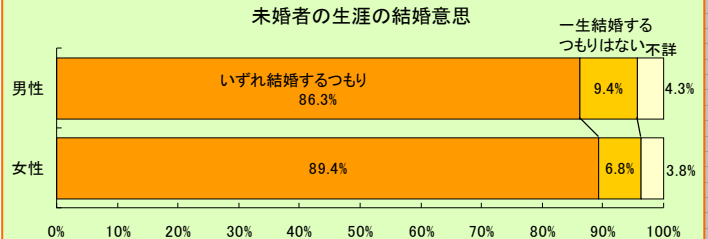


(問) 県男女家庭室 078-362-3160

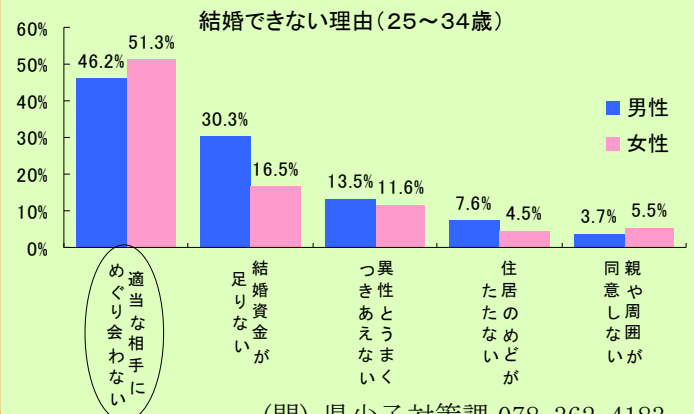
～第14回出生動向基本調査～

「9割が結婚を希望」するも「半数は出会いがない」と回答

厚生労働省がこのたび公表した「第14回出生動向基本調査」によると、18歳以上35歳未満の未婚男女のうち、いずれは結婚しようと考えている未婚者の割合は、男性86.3%(前回87.0%)、女性89.4%(同90.0%)と、高い水準にあります。



また、結婚できない理由として男女ともに約5割が「適当な相手にめぐり合わない」と答えています。そのほか約3割の男性が「結婚資金が足りない」と答えています。



(問) 県少子対策課 078-362-4183

県では出会い支援事業を展開しています!

各種会員・団体大募集!

<出会いイベント会員(無料)>

協賛団体(企業)が企画・開催する出会いイベントに参加できます。

<はばタン会員(有料:年度登録料3000円)>

プロフィールを閲覧して、気に入った相手との個別のお見合い紹介を提供します。

☆出会いイベントを企画・開催する協賛団体(企業)も募集しています。



(問)ひょうご出会いサポートセンター(県青少年本部)078-891-7415

はばタンの環境学習(12/16) 園児たちがはばタンとお約束

県は、幼児期における環境学習への取組として、「はばタンの環境学習」を芦屋市立西山幼稚園で開催し、約110名の園児が参加しました。

学習会では、紙芝居を使って水や電気の大切さを知ってもらうとともに、環境にやさしい生活を園児に呼びかけ、子どもたちは、幼稚園やお家で環境を大切にすることをはばタンと約束しました。

「はばタンと一緒に話が聞けて良かった」と嬉しそうに話す園児の姿が印象的でした。

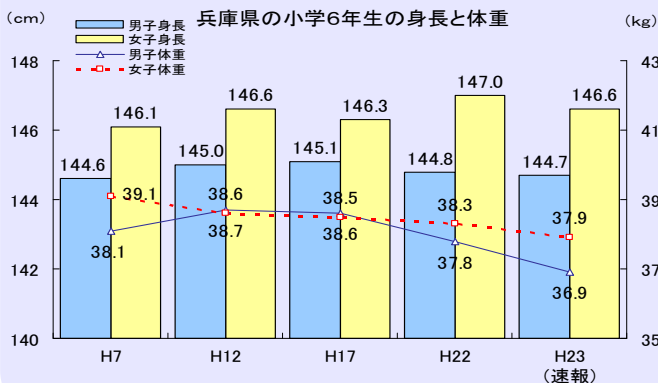


(問) 県環境政策課 078-362-9895

学校保健統計調査(H23速報) 子どもの身長は横ばい 体重はスリムに

このたび公表された「学校保健統計調査速報」によると、県内の小学6年生の身長は前年調査とほぼ横ばい、体重については、男子は0.9kg減、女子は0.4kg減となるなど“スリム化”が進んでいることが明らかになりました。

ちなみに体重は、男子では高校3年生以外、女子では高1、高3以外の各学年で、全国平均値を下回っています。



虐待防止へ親権の停止可能に 改正民法、平成24年4月に施行

政府は12月13日、「児童虐待防止のために親権を最長で2年間停止できる」事等を定めた改正民法の施行を平成24年4月1日とする政令を閣議決定しました。

現行民法では、家庭裁判所の宣告により親が親権を失う「親権喪失」の制度がありますが、期限に定めがなく、親子関係の断絶につながりかねないことから、申し立てをためらうケースが多くありました。

改正法では、親族や虐待された本人等から申し立てがあれば、家裁が子の身体や生活の状況を考慮し、「親権の行使が困難または不相当で、子の利益を害する場合」に、2年以内の範囲で審判で停止期間を定めることができるようになります。

<児童虐待防止 24 時間ホットライン>

中央こども家庭センター	078-921-9119
西宮こども家庭センター	0798-74-9119
川西こども家庭センター	072-759-7799
姫路こども家庭センター	079-294-9119
豊岡こども家庭センター	0796-22-9119
神戸市こども家庭センター (夜間休日相談)	078-382-2525 078-382-1900

「子育てフォーラムinひょうご」を開催

「こどもは社会の宝 みんなで護ろう みんなで子育て」をキャッチフレーズに社会的養護を考えるリレーフォーラムが、県児童養護連絡協議会や県地域活動連絡協議会等により県内5か所で開催され、延べ1,259名が参加しました。

播磨会場では、落語家の桂蝶六さんが「親育ち」と題して講演、施設職員との対談を行い、「叱る側に余裕がないと『叱る』ではなく『怒る』になってしまう」、「人間本来の愚かさを『しゃあないやっちゃ』と認めることが必要」など、自らの経験談を元にユーモアたっぷりに話をされました。

また明石会場では、歌のお兄さんと一緒に歌うなど大人も子どもも楽しいひと時を過ごしました。



(問) 県児童課 078-362-3182

参加者募集

親子で楽しく学ぼう「おこづかいゲーム」

お金の価値や役割を理解し、物を大事に使う大切さを「すごろくゲーム」方式で楽しく学ぶ学習会を開催します。

- ◆日時 平成 24 年 1 月 29 日 (日)
13:30~15:30
- ◆場所 西宮市大学交流センター
(西宮市北口町 1-2 ACTA 西宮東館 6 階)
- ◆対象 小学生(3~6 年)と保護者 50 組(100 名)
- ◆内容 体験学習とパネルやパンフレット等の展示
- ◆申込 保護者と小学生の氏名・住所・電話番号を明記し、FAX、E-mail、郵送または電話で下記まで(先着順・参加無料・申込締切 1/20(金)(郵送は必着))
- ◆問合せ 兵庫県生活科学総合センター
〒650-0046 神戸市中央区港島中町 4-2
TEL 078-302-4000
FAX 078-302-4002
E-mail seikatsukagakusogo@pref.hyogo.lg.jp

県立美術館「アートな凧をつくろう」

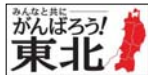
新しい 1 年をアートで始めてみませんか。美術館の作品を鑑賞してアートな凧を自分で作ってみましょう。作った凧はその後みんなで空に浮かべます！

- ◆日時 平成 24 年 1 月 7 日 (土)
10:30~15:30
- ◆場所 兵庫県立美術館 アトリエ
(神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1)
- ◆対象 小中学生とその保護者 30 名
(小学校 3 年生以上はこどものみの参加も可です。保護者の方は別途要観覧料)
- ◆申込 電話で申し込み(先着順)
- ◆費用 500 円
(材料費、保険料含む)
- ◆問合せ 兵庫県立美術館
こどもイベント係
TEL 078-262-0908



NPO 等の活動紹介

「NPOと行政の子育て支援会議」 ひょうごボランティアプラザとともに 宮城・福島・岩手を訪問し親子らと交流



NPO と行政の子育て支援会議(米山清美代表幹事)は、ひょうごボランティアプラザとともに、東日本大震災で被災した子どもたちを励ますため、11/30~12/3 にかけて岩手、宮城、福島の 3 県の幼稚園や小学校などを訪問しました。

仙台市の東六郷幼児学園では、園児たちに人形劇を披露。

福島県伊達市では、サンタクロースに扮した阪神タイガースドラフト 2 位指名の聖光学院の歳内宏明選手と共に、原発事故で飯館村から避難している子どもたちにプレゼントを手渡すなど、交流を深めました。



★このひとキラリ★

地域で子育て支援活動に取り組んでいる方を紹介します！

「はじめましてのごあいさつ～」

ひょうご絵本の伝承師 山本 誠(伊丹市)

私は、現在、定時制高校に勤務しています。出勤までの時間を活かし、夫婦で「おはなし♪ぼぼんた」というユニットを組んで地域で絵本の読み聞かせ活動をしています。

絵本のBGMに「一五一会」という弦楽器を用いながら、0 歳から 80 歳までいろんな方々に、お話を届けています。絵本を介したコミュニケーションで、少しでもほっとしてもらえたら…と、絵本を抱えて出かける毎日です。



高校でも、生徒を相手に絵本を読んだり、一緒に「学童保育」にお話を届けたり、絵本を作ったりと、生徒たちに少しでも絵本を読んでもらった頃の幸せな時間を思い出してもらえたらと毎日取り組んでいます。



※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部(健康福祉部 子ども局少子対策課)
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうごの子育て支援情報は

ひょうご 子育て

検索

ひょうご子育て twitter

子育て情報やイベント情報をツイッターで随時発信しています。

<http://twitter.com/HyogoKosodate>

ひょうご子育て応援メールも 好評配信中です！

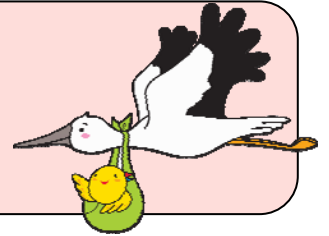
子育てに役立つ身近な情報をメールで配信しています。
regist@magazine.hyogo-kosodate.jp(QRコードからも読取可)に空メールを送付し登録してください。



ひょうご

子ども未来通信 2月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_000000008.html



県・市町懇話会(1/20) 安心こども基金を活用した児童虐待対策の強化を市町に要請

知事と全市町長が幅広く意見交換を行う「県・市町懇話会」が1月20日、県公館で開催されました。

冒頭、井戸知事は「変化の激しい時代だからこそ、兵庫らしさを大切にして、県と市町が協力して自分の足で立っていくことが大切」とあいさつ。

少子対策・子育て支援については、清原理事兼少子対策本部事務局長から、安心こども基金を活用した保育サービスの充実や、児童虐待防止対策として、市町による相談体制強化など、積極的な取組を各市町長へ働きかけました。

また、平成 22 年の国勢調査結果を基に算出した県内市町別合計特殊出生率を発表。

県全体では、10 年ぶりに全国平均 1.39 を上回る 1.41 で、県内の最高は豊岡市の 1.94 でした。



県内市町別合計特殊出生率(H22)

神戸市	1.29	神河町	1.39
尼崎市	1.51	市川町	1.02
西宮市	1.34	福崎町	1.52
芦屋市	1.32	たつの市	1.42
宝塚市	1.34	宍粟市	1.58
三田市	1.24	太子町	1.79
伊丹市	1.63	佐用町	1.30
川西市	1.30	相生市	1.52
猪名川町	1.24	赤穂市	1.40
加古川市	1.50	上郡町	1.22
高砂市	1.53	豊岡市	1.94
稲美町	1.11	香美町	1.84
播磨町	1.45	新温泉町	1.76
明石市	1.48	養父市	1.73
西脇市	1.73	朝来市	1.72
三木市	1.15	篠山市	1.45
小野市	1.48	丹波市	1.69
加西市	1.23	洲本市	1.67
加東市	1.52	南あわじ市	1.71
多可町	1.35	淡路市	1.37
姫路市	1.55	県	1.41

<合計特殊出生率とは・・・>

15～49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性とその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当します。

(問) 県少子対策課 078-362-4183

「ぼうさい甲子園」表彰式を開催 (1/8)

子どもや学生の防災活動への取組を顕彰する 1.17 防災未来賞「ぼうさい甲子園」の表彰式・発表会が1月8日、兵庫県公館で開催されました。

今回は、全国から 92 団体の応募があり、「ぼうさい大賞」

は東日本大震災の際に小学生を連れ、すばやく高台に避難した釜石市立釜石東中学校など 4 団体が、グランプリは 2 年連続で徳島市津田中学校が受賞しました。

県内からは、県立淡路高等学校が奨励賞を受賞したほか、被災地支援活動に取り組んだ 4 団体が特別賞に選ばれました。



高校生の部 (奨励賞)	県立淡路高等学校	今、防災を考える～地域に密着した防災活動～
はばタン賞	アトリエ太陽の子	絵画を通じて行う東北支援活動。心のケア
東日本大震災支援特別賞	あなたの思い出まもり隊	思い出をまもるために・・・被災地外で行うボランティア
	神戸女子大学 Smile 空間プロジェクト	かまぼこ板の表札づくりを通じた心の支援
	流通科学大学・RYUKA 被災地復興サポートチーム	被災地復興のため緊急災害 FM 立ち上げサポート

(問) 県復興支援課 078-362-4335

地域出会いサポートセンターが開設1周年

独身男女の出会い・結婚を応援する「ひょうご出会いサポートセンター」（県青少年本部）、地域出会いサポートセンター（10か所）が、開設から1年を経過し、現在、会員数は約4,000人に達しています。

国の調査では、出会ってから結婚までの平均交際期間が4.3年と長期化傾向にある中、センターには、この1年間でゴールインの報告が続々と寄せられています。

県青少年本部では、個別のお見合い以外にも、イベント形式の出会いパーティや婚活セミナー、郡部の男性と都市部等の女性のマッチングなど様々な取組を県内各地で行っていますので、ぜひお問い合わせください。

センター名	電話
神戸出会いサポートセンター	078-381-6820
阪神南出会いサポートセンター	06-6481-7370
阪神北出会いサポートセンター	0797-26-7351
東播磨出会いサポートセンター	078-920-9337
北播磨出会いサポートセンター	0795-38-8022
中播磨出会いサポートセンター	079-240-7005
西播磨出会いサポートセンター	0791-58-1311
但馬出会いサポートセンター	079-662-7701
丹波出会いサポートセンター	0795-78-9130
淡路出会いサポートセンター	0799-24-2717

各種会員・団体大募集！

<出会いイベント会員（無料）>

協賛団体（企業）が企画・開催する出会いイベントに参加できます。

<はばタン会員（有料：年度登録料3000円）>

プロフィールを閲覧して、気に入った相手との個別のお見合い紹介を提供します。

☆出会いイベントを企画・開催する協賛団体（企業）も募集しています。

（問）ひょうご出会いサポートセンター（県青少年本部）078-891-7415

県立尼崎・塚口統合新病院基本設計概要発表 小児救急・周産期医療を充実・強化

県立尼崎・塚口病院統合新病院の基本設計概要がこのたび発表されました。

新病院は、尼崎市東難波町（尼崎市立尼崎産業高校跡地）に地上11階・地下1階、延床面積約67,200㎡で建設予定。

地域の小児中核病院として、小児の2次及び3次救急医療を24時間365日提供するほか、妊婦及び新生児に対する総合的な周産期医療を提供する予定です。

また、母子が安らぎを感じられる個室整備やホスピタルアートの導入など、患者本位の病院を目指します。

今後は、24年度に建設工事に着手し、26年度の開院を目指し、整備を進めていく予定です。

新病院完成予想図



（問）県病院局企画課 078-362-9164

子育て応援「企業人」セミナーを県内3地域で開催

県では、地域の子育て家庭への応援や従業員の子育てと仕事の両立支援を進める企業と、子育て応援協定を締結しています。

協定企業では、「少子対策・子育て支援推進員」が、社内や地域における子育て支援活動の推進に取り組んでいます。これらの取り組みをさらに進めるための推進員を対象としたセミナーが神戸・阪神・播磨の3会場で開催され179名が参加しました。

講師の社会保険労務士からは「人材を確実に確保し120%活用する体制づくりにはワークライフバランスが切り札になる」など、企業経営の観点からの仕事と子育ての両立支援のメリットなどが紹介され、参加者からは「従業員が働きやすい環境づくりをさらに進めたい」等の意見が寄せられました。



協定を締結すると・・・

- ・公共事業入札参加資格技術・社会貢献評価点数加算（8点/382点満点）
- ・商工中金ローンの貸出金利0.3%優遇
- ・県HPで企業等の取組を紹介などの支援が受けられます。

（問）県少子対策課 078-362-4184

「ママの子連れセミナー」を開催

県立男女共同参画センターでは、出産等で離職した方が再就業を目指すまでのステップの入口として、乳児連れで気兼ねなく参加できるセミナーを開催しています。

1月17日のセミナーでは「コミュニケーション～今が磨きをかけるチャンス～」をテーマに、講師の瀧井智美さん(Office ICB 代表)が「ありがとう」の伝え方や、子育て期の「聴く」ことの大切さに加え、自身の働くママとしての経験を披露。講義とグループワークで場内は大いに盛り上がりました。



参加者からは「子どもも安心していただき、実践的な内容で、自分自身が生き生きとし、リフレッシュできた」などの声が聞かれました。

なお、好評につき、2月20日に姫路でも開催します。希望される方は下記まで。



(問) 県立男女共同参画センター078-360-8550

＜ママの子連れセミナーin 姫路＞

日時 2/20(月)
10:30～12:00
場所 「イオンタウンひめじ」
まちコミホール
定員 親子 15 組(参加無料)
問合 NPO 法人生涯学習
サポート兵庫
Tel 079-230-0662

「学生子ども応援隊」が 児童養護施設などで活躍中！

県では、県内大学等と連携し、次世代の親となる大学生の子育て支援活動を応援しており、現在、子育て支援に意欲のある学生さんたちが、児童養護施設等でボランティア活動に取り組んでいます。

西宮にある児童養護施設「三光塾」へは、神戸大学から約20名が子育て支援ボランティアに参加。子どもたちの遊び相手や絵本の読み聞かせを行っている同大学2回生の竹本さんは、「ボランティアは大変だけど楽しい。将来は子どもに関わる仕事に就きたい」と将来の夢を語ってくれました。

2月15日にはボランティア活動に取り組む学生が集まり、活動報告や意見交換を行う交流会を開催しますので、ぜひご参加ください。



ボランティア活動を行う竹本さん(左)
三光塾

＜学生子育て支援ボランティア意見交換・発表会＞

日時 平成24年2月15日(水) 13:00～16:00
場所 ラッセホール5階 サンフラワー
(神戸市中央区中山手通4-10-8)
内容 講演、学生による子育て支援活動報告、学識者・児童養護施設職員等との意見交換等(参加無料)
申込 氏名・所属・住所・連絡先を明記の上、下記まで
県少子対策課少子計画係 FAX:078-362-3011
E-mail:shoshitaisaku_O2@pref.hyogo.lg.jp

(問) 県少子対策課 078-362-4183

募集・申込

子育て支援メッセ

NPO・地域団体、企業、大学、行政が一堂に会し、それぞれの子育て支援活動の紹介や、情報交換・交流を行う“子育て支援メッセ”を開催します。(参加費無料・入退場自由)

- ◆日時：平成24年2月26日(日) 11:00～15:00
- ◆場所：兵庫県民会館 11 階 パルテホール 他
(神戸市中央区下山手通4-16-3)
- ◆内容：①情報展示コーナー
 - ・県内6地域の子育て支援NPO、県、市町
 - ・企業(株)ミキハウス、(株)赤ちゃん本舗 他
 - ・大学(神戸大学、関西学院大学 他)
 ②体験・遊びのコーナー(親子でヨガ、人形劇 他)
 ③子育て相談コーナー(小児科医、助産師)
- ◆申込：不要(先着順の体験プログラムは、当日整理券を配布(1家族1プログラム))
- ◆問合 県少子対策課(Tel078-362-4184)



ひょうご地域子育て孫育て応援セミナー

「祖父母世代の子育て参加」についての講演や、ひょうご子育て応援賞の受賞者による地域ぐるみの子育て支援の先導的な取り組みを紹介するセミナーを開催します。(参加費無料)

- ◆日時：平成24年2月21日(火) 13:00～15:30
- ◆場所：兵庫県民会館 11 階パルテホール
(神戸市中央区下山手通4-16-3)
- ◆内容：ひょうご子育て応援賞表彰式
基調講演「祖父母世代の子育て参加」
講師 片山 啓 氏(片山キッズクリニック院長)
パネルディスカッション「地域ぐるみの子育て孫育て」
- ◆申込：代表者氏名、連絡先、参加人数を下記まで連絡
- ◆問合：県少子対策課(Tel078-362-3385)

県立神戸高等技術専門学院 24年度生募集 子育て中の人対象の「総合ビジネスコース」新設

県立の職業訓練校である同学院では、結婚、出産等で一旦離職した子育て中の方の再就職を支援する「総合ビジネスコース（子育て両立支援）」を24年度より新たに設置します。4月入校の訓練生を募集します。

総合ビジネスコース（子育て両立支援）

<内容>

出産等により離職された方の再就職支援を目的に、事務職に必要な簿記・経理の技術、パソコン活用技術、コミュニケーション技術、応接技術、ビジネスマナー等の習得(授業料無料(別途諸経費5万円要))

<訓練時間>

土・日・祝日を除く平日 9:45~14:30(夏休み・冬休みが若干あります)

<募集定員> 30名 <訓練期間> 1年間

<応募方法>

- ◆応募期間 2/20(月)~3/7(水)
- ◆試験日 3/16(金)
- ◆試験内容 面接・学科(国語・数学)(高等学校修了程度)(受験料無料)
- ◆申込 所定の様式に必要な事項を記入の上、お近くのハローワークまたは学院事務局
- ◆問合せ 県立神戸高等技術専門学院募集担当
〒651-2102 神戸市西区学園東町5-2
TEL078-794-6633
<http://www.kobe.kgs.ac.jp/>



新婚・子育て世帯優先の県営住宅の入居者募集

県では、新婚・子育て世帯を対象に、県営住宅に優先入居枠を設定し、住宅確保を支援しています。

募集は毎月末行っていますので、入居を希望される方は下記までお問い合わせください。(下記は1月募集分)



- ◆募集期間：平成24年1月30日(月)~2月3日(金)
- ◆募集戸数：(1)新婚・子育て世帯向け定期借家制度(10年間)による住宅：7戸
(2)新婚・子育て優先枠：14戸
- ◆募集要件：夫婦の合計年齢が70才未満で結婚2年以内または13歳未満の子どもがいる世帯(その他収入要件などあり)

(問)兵庫県住宅供給公社 078-232-9585

★このひとキラリ★

地域で子育て支援活動に取り組んでいる方を紹介します!

「絵本でつながる地域と私」

ひょうご絵本の伝承師 田中 知子さん(西宮市)

私は、地域の小学校と中学校で図書ボランティアとして、絵本の読み聞かせや、図書室の環境を整える活動をしています。

読み聞かせは聞き手の反応がよくわかります。お話に聞き入る子ども達のキラキラした目を見るのが大好きで、自分の選んだお話が子ども達に喜んでもらえる時は大きな幸せを感じます。

ひょうご絵本の伝承師養成講座をきっかけに、定番の絵本だけでなく最近の絵本にも興味を持ち、自分なりに勉強するようになりました。社会福祉協議会の子育て地域サロンにも呼んでいただき、小さなお子さんとお母さん達に、絵本の読み聞かせや子どもの好きな絵本についてのお話、絵本購入のお手伝いをしています。



県美神戸っ子アートフェスティバル

「つくりだそう夢・未来・神戸」をテーマに、神戸市立の幼稚園・小・中・高校、特別支援学校の幼児・児童・生徒が制作した作品約3,600点が兵庫県立美術館に集まります。子ども達の夢いっぱいの作品をご体感ください。

また、2月4日(土)・5日(日)には無料のギャラリートークを11:00から、「アートであそぼ!」を11:00~15:30(随時)から、美術館探検ツアーを14:00から開催しますのでご参加ください。(参加無料)

- ◆日時 1/31(火)~2/5(日) 10:00~18:00
※4日(土)は10:00~20:00(入場は閉館30分前まで)
- ◆場所 兵庫県立美術館ギャラリー棟
- ◆問合せ 神戸市総合コールセンター
TEL 078-333-3330



※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部(健康福祉部 子ども局少子対策課)
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうごの子育て支援情報は

ひょうご 子育て

検索

ひょうご子育て twitter

子育て情報やイベント情報をツイッターで随時発信しています。

<http://twitter.com/HyogoKosodate>

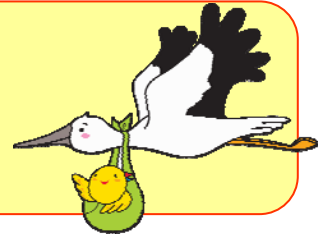
ひょうご子育て応援メールも 好評配信中です!

子育てに役立つ身近な情報をメールで配信しています。
regist@magazine.hyogokosodate.jp(QRコードからも読取可)に空メールを送付し登録してください。



ひょうご

子ども未来通信 3月号



http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html

平成24年度 県予算案 少子対策・子育て支援を充実強化へ

県では、2月9日、一般会計総額2兆160億円となる平成24年度予算案を発表しました。少子対策・子育て支援に関する予算額は約798億円で、①第1子・第2子・第3子の出生に向けたきめ細かい子育て支援、②子ども・若者の仲間づくりと豊かな人間性の涵養、③出産で離職した女性の再就業を支援、④児童虐待防止対策の徹底の4つの柱に基づき取り組みを進めていきます。

また、県の予算案の発表にあわせ、24年度の少子対策・子育て支援の取組をまとめた「新ひょうご子ども未来プランプログラム2012」を同時発表しました。

同予算案は、現在開会中の第312回2月定例県議会での議決を経て成立となります。



平成24年度予算案を発表する井戸知事

24年度の少子対策・子育て支援施策の主な取組

(その他の主な事業については3pに掲載)

第1子

出会い結婚支援を推進

ひょうご出会いサポートセンター・地域出会いサポートセンター(10か所)で出会い結婚支援を展開
・出会いイベント・婚活セミナー、お見合い等を実施

予算 137,206千円

第2子

乳幼児子育て応援事業を充実

在宅児童とその親を対象に、子育ての悩み相談やしつけ教室等親の体験活動や児童の体験保育の機会を提供

- ・民間保育所:③341か所→④441か所
- ・私立幼稚園(2歳児):③191か所→④233か所
- ・私立幼稚園(0~1歳児):③22か所→④42か所

予算 690,976千円

第3子

多子世帯保育料軽減事業を拡充

多子世帯の子育てにかかる経済的負担を軽減するため、第3子以降が利用する場合の保育料の一部助成を拡充(対象世帯を拡大)

〈補助額〉

- 保護者負担 ③6,000円/月超→④5,000円/月超
- 3歳未満児 ③4,500円/月 →④5,500円/月限度に補助
- 3歳以上児 ③3,000円/月 →④4,000円/月限度に補助

予算 317,205千円

保育所・認定こども園等の整備

基盤整備

- ・保育所の新設・増改築等による定員増実施
- ・④53か所(うち創設21)、定員2,500人増
- ・私立幼稚園による預かり保育の充実
- ・④実施か所数:平日218か所、休業日6か所、長期休業日102か所
- ・保育所機能と幼稚園機能、地域の子育て支援機能をあわせもつ認定こども園の設置を推進
- ・④4月・75か所→⑤4月・90か所

予算 4,730,939千円

新ひょうご子ども未来プラン プログラム2012の推進
～家庭・地域・職場で包む、安心と喜びの子育て支援～

平成22年の県の合計特殊出生率は、前国勢調査年である平成17年の1.25から0.16ポイント増加した1.41で、全国順位も38位から36位に上昇しています。また、平成23年の県の出生数は47,974人で前年比1.17%減となりました。全国との比較では前年同期比で国の1.66%減に対し本県は国の減少幅より少ない0.87%の減にとどまっています。しかし、今後も20~30歳代の女性人口の減少が続くため、少子対策・子育て支援の更なる充実・強化が求められます。

年度	H17	H22	H23	H23.1~11	前年同月比
出生数	47,951人	48,541人	47,974人	44,291人	△0.87%
全国	1,090,237人	1,102,050人	—	993,429人	△1.66%
合計特殊出生率	1.25(18.9%)	1.41(19.6%)	—	1.39	—

※H23の全国出生率は2月下旬に出生発表

資料:兵庫県統計(出生数・人口)、国勢調査(出生数・人口)、国勢調査(出生数・人口)

県では引き続き、新プランの出生数目標24万人の達成に向け、「新ひょうご子ども未来プラン」の年度別行動プログラムを策定し、社会情勢の変化や新たな課題に対応した更なる取組を進めていきます。

「プログラム2012」では、特に下記の4点に重点を置き、少子対策・子育て支援に取り組んでいきます。

①第1子・第2子・第3子の出生に向けたきめ細かい子育て支援
第1子出生への支援として、出会い・結婚や若者の就業支援、第2子出生への支援として育児不安の解消や親の育児参加、第3子出生への支援として経済的負担の軽減を図るなど、それぞれの段階に対応したきめ細かい少子対策・子育て支援の取組を進めます。また、すべての子どもに対する子育て環境を整備するため、保育所、幼稚園、認定こども園等の充実を図ります。

②子ども・若者の仲間づくりと豊かな人間性の涵養
日本の高校生は海外と比較して自己肯定感が低い傾向があるとされており、また体験豊富な子どもほど自立的な行動習慣が身につく傾向にあることから、子どもの冒険心や若者ゆうゆう広場等の更なる充実を図るとともに、道徳教育など豊かな人間性へ育む取組を進めます。

③出産で離職した女性の再就業を支援
県の30歳代以降の女性労働力率は全国と比べて低くなっており、就業を希望しながら実際に就業できない女性たちを対象に、ひょうご女性再就業応援プログラムを通じて、出産・育児などにより一度離職した人たちの再就業を支援します。

④児童虐待防止対策の徹底
増加する児童虐待に対し、地域団体と連携した見守り強化や市町相談体制の強化、こども家庭センターの体制の強化等を図ります。

詳細は以下HP参照
http://web.pref.hyogo.lg.jp/governor/documents/g_kaiken20120209_05.pdf

まちの子育てひろば・子どもの冒険ひろば・若者ゆうゆう広場 3ひろば交流会を開催

子育て3ひろばの関係者が集い、情報交換を行う交流会が、神戸市内で開催され、約140名が参加しました。

各ひろばの代表者によるパネルディスカッションでは、「ひろばが様々な機能を持つことで、お年寄りから子どもまで集うトータルな施設として常に賑わっている」「行政や地域に自分たちの活動をPRすることで、様々な分野の方からの応援が増えた」など、活発な意見が交わされました。

井戸知事からは、「地域ごとに課題や実施方法も違うが、子ども達を育てていくための環境整備という共通目的のため、それぞれの特色を活かして頑張っていたきたい」とエールを送りました。

(問) 県少子対策課 078-362-4185



ひょうご子育て応援賞(2/21) 先進的な取組を行う20団体・企業を表彰

県内各地で先進的な子育て支援活動を展開している団体・企業等を表彰する「ひょうご子育て応援賞」の表彰式が、神戸市内で開催されました。

井戸知事は「子どもが夢を持てる未来を構築していくことが大事。そのためにも地域ぐるみの子育て支援は不可欠」と、今後の活動の更なる広がり期待を込めました。



受賞団体

(社)兵庫県看護協会	(社)播磨教育センター
(財)兵庫県老人クラブ連合会	子どもの遊び場を考える会赤とんぼ
兵庫県愛育連合会	日本ボーイスカウト兵庫連盟突撃第3団
ママの働き方応援隊	パニラシティ
神戸市北区民生委員児童委員協議会主任児童委員部会	にじっこクラブ
カラーくり人形劇団	(社)篠山青年会議所
まちづくりステーションきらめき	ひかみCAP
親子ふれあいサークルスマイリー	子育てファミリーサポートくらぶピッピー
加西市北部子育て学習センター自主グループ mama なひめ	(株)JCLバイオアッセイ
網干おやじ塾	(株)オーシスマップ

また、引き続き行われたセミナーには、子育てを応援するNPO、企業、行政関係者など140名が参加。

片山啓・片山キッズクリニック院長が「育児・しつけの役割は両親」「子どもの前で両親の悪口は言わない」等祖父母世代の孫育ての秘訣を披露したほか、地域で活動する団体等によるパネルディスカッションが行われました。



(問) 県少子対策課 078-362-4232

平成23年度 第2回 県・市町少子対策協議会議 県と市町が少子対策に関する情報を交換

県と市町の少子対策・子育て支援担当者が一堂に会し、取組施策の情報共有・意見交換を行う会議が開催され、県・市町の関係者約120名が出席しました。

県内5市町による先進的な少子対策の取組事例発表や、県関係課による24年度の施策説明が行われた後、分野別グループ討議を行い、県・市町の情報共有を図りました。



各市町の事例発表

丹波市	福祉法人を設置主体に、幼稚園と保育園を一体化した認定こども園を推進
たつの市	母子健康推進員等が市保健師とともに乳児家庭全戸訪問事業、新生児訪問事業を実施
三田市	児童虐待防止対策として、体制整備や職員の資質向上に向けた取り組みを推進
佐用町	地域子育て創生事業を活用した独身男女の出会いイベントを実施
神戸市	地域におけるワークライフバランス推進のためのワークショップ形式のイベントを実施

(問) 県少子対策課 078-362-4183

24年度の少子対策・子育て支援関係の主な事業案 (関連1p)

事業	事業内容	予算
㊦ ひょうご女性再就業応援プログラムを展開	県立男女共同参画センターに「女性就業相談室」を開設。相談から再就職セミナーまで切れ目のない女性の再就業を支援 ・ママの働き方相談会の実施 ・キャリアアドバイザーの個別相談 ・女性向け再就業セミナーの実施	43,027千円
子ども・若者の仲間づくりの場の充実	・身近な地域の大人が子どもたちを見守り、安心して自由に遊べる場として「子どもの冒険ひろば」を拡充 ・㊦483か所(広域29か所)→㊦500か所(広域29か所) ・子ども・若者(主に中高生)が気軽に安心して立ち寄り、地域の大人が子ども・若者を見守る場所として、「若者ゆうゆう広場」を充実 ・㊦45か所→㊦60か所	36,274千円
㊦ ハイリスク家庭の早期発見とフォローの徹底	・助産師・看護師・養護教諭等に対して、妊産婦に対する相談技術の向上のための研修を実施し、ハイリスク妊産婦の早期発見、早期支援体制を構築 ・市町保健師への研修等を通じ乳幼児ハイリスク家庭を早期フォロー	8,879千円
㊦ 児童虐待防止に向けた県・市町の体制整備強化	・各こども家庭センターに市町への指導助言を行うアドバイザー(5人)を配置 ・市町専門職員の増員 ・こども家庭センターの心理担当職員を増員(㊦7人→㊦11人)	238,736千円
㊦ 県立こども発達支援センター(仮称)を新設	診断、診療、療育(リハビリ)、出張相談等により発達障害児の早期発見、支援体制を強化 ・県立清水が丘学園に併設、24年7月開設予定	20,643千円

「子ども・子育て新システムに関する基本制度とりまとめ」を公表(内閣府)

2015年度をめぐって「総合こども園」創設へ

内閣府の子ども・子育て新システム検討会議基本制度ワーキングチームは1月31日、幼稚園と保育所を一体化した総合こども園(仮称)の創設を柱とする子育て支援策の最終案を取りまとめました。関連法案を今国会に提出し、2013年度から順次実施を目指すこととしています。

幼保一体化の具体的な仕組み

市町村新システム事業計画(仮称)の策定	市町村は、子ども・子育てに係る需要の見込み及び見込量の確保のための方策等を記載した事業計画を策定
総合こども園(仮称)の創設	学校教育・保育及び家庭における養育支援を一体的に提供する総合こども園(仮称)を創設
こども園給付(仮称)の創設	学校教育・保育に係る給付を一体化し、指定を受けた総合こども園(仮称)、幼稚園、保育所等に給付
多様な保育事業の量的拡大	株式会社やNPO等も含めた多様な事業主体の保育事業への参入を促進

学生子育て支援ボランティア意見交換・発表会を開催

学生による子育て支援ボランティアの取組についての意見交換・発表会が、2月15日、神戸市内で開催され、学生や学識者、児童養護施設職員など約50名が参加しました。

伊藤篤神戸大学教授は講演で、「子育て支援ボランティアに参加することで学生は自己成長する。また施設職員もボランティアのマネジメントを通じ、神戸大学大学院 伊藤教授 仕事の質が向上する」とその効果を紹介。

また、学識者や施設職員等を交えてのワークショップでは、「施設とボランティアが十分コミュニケーションをとることで活動がより充実する」「継続的な取組につなげたい」など今後の活動につながる活発な意見が交わされました。



神戸大学大学院 伊藤教授



(問) 県少子対策課
078-362-4183

子育て応援「企業人」セミナー

経営的視点から見たワークライフバランスの考え方や、行政の取組などを紹介するセミナーを県内2か所で開催します。(経営者協会と共催)
(参加無料・定員各70名)

<姫路>

◇日時 3月7日(水) 13:30~16:00
◇場所 姫路商工会議所 新館2階201 研修室
(姫路市下寺町43)

<伊丹>

◇日時 3月19日(月) 13:00~15:30
◇場所 伊丹商工プラザ 6階マルチメディアホール
(伊丹市宮ノ前2-2-2)

◆申込 会社名、住所、氏名、電話番号、子育て応援協定締結の有無を明記のうえ下記まで
兵庫県少子対策課 Fax078-362-3011
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

新ひょうご子ども未来プラン推進協議会 公募委員(3名)を募集しています

県の少子対策・子育て支援の推進に向けた検討を行う「新ひょうご子ども未来プラン推進協議会」の委員を募集しています。

たくさんのご応募をお待ちしております。

<応募人員> 3名

<応募資格>

兵庫県内に居住する方、または通勤・通学している方で、少子対策・子育て支援に関して、広く関心を持ち、議論することができる方等

<応募方法>

氏名(ふりがな)、性別、職業、生年月日、住所、連絡先電話番号、興味分野・テーマ、略歴、自己PRを記入した応募用紙と次のテーマについてまとめた800字程度の作文(様式自由)を郵送、FAX又は電子メールで提出してください。なお、提出いただいたものはお返し出来ませんので、ご了承ください。

<応募作文テーマ>

自身の子育て・子育て支援活動を踏まえた今後の少子対策について

<締め切り> 平成24年3月14日(水)(必着)

<応募先・問合せ先>

兵庫県健康福祉部こども局少子対策課少子計画係
電話078-362-4183 FAX078-362-3011
E-mail: shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp
http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_000000012.html

県美「元気のぼりに絵を描こう！」

鯉のぼりの形をした布に、東日本大震災からの復興の願いを込めて、励ましの絵やメッセージを描く「元気のぼり」。世界的な彫刻家・新宮晋氏を講師に招き「元気のぼり」を制作します。制作された「元気のぼり」は、東北に送られ、4月に宮城県美術館屋外で展示される予定です。

- ◆日時 3月24日(土) 10:30~15:00
- ◆場所 兵庫県立美術館ギャラリー棟
- ◆費用 1人1000円(1グループ最大3,000円)
- ◆対象 子どもを中心とした家族又はグループ(1グループ3名以上)20組

※大人のみ参加可、子どものみ参加不可

- ◆問合せ 申込方法など、詳しくは下記までお問い合わせください。

「元気のぼりに絵を描こう！」係
TEL: 078-262-0908
eventx@artm.pref.hyogo.jp



★このひとキラリ★

地域で子育て支援活動に取り組んでいる方を紹介します!

地域に開かれた『みどり文庫』

まちの子育てひろば「みどり文庫」
加藤 加代子さん(三木市)

私は10年前から、自宅で文庫を開いています。絵本の魅力にはまり文庫をはじめました。本を買う資金を得るためにパンやケーキを焼いてきてくれるみなさんに寄付金という形で協力してもらっています。



文庫に集まったみなさん
(加藤さん:右から1人目)

お話し会をしたり、小さい赤ちゃんを連れてお母さんに、ゆっくりお茶を飲んでもらってその間にスタッフが抱っこしていたり、小学生がパンを食べながら本を選んだり・・・毎月第2、第4火曜の夕方にわいわい我が家に人が集まってきます。本だけではなく、一緒にパンを焼いたり、外で縄跳びをしたり、宿題を一緒にやったり、お母さん同士の井戸端会議の場所になったり・・・なんだか寺子屋のようです。

そんな文庫を少しでも長く続けていけたらいいなあと思っています。

※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部(健康福祉部こども局少子対策課)
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうごの子育て支援情報は

ひょうご 子育て

検索

ひょうご子育て twitter

子育て情報やイベント情報をツイッターで随時発信しています。

<http://twitter.com/HyogoKosodate>

ひょうご子育て応援メールも 好評配信中です!

子育てに役立つ身近な情報をメールで配信しています。

regist@magazine.hyogokosodate.jp(QRコードからも読取可)に空メールを送付し登録してください。

